

第 40 期（平成 19 年 3 月期）決算の概要に関するお知らせ

1. 業績概要（個別）

	第 40 期 (平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)	第 39 期 (平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月)	増減率 (%)
売上高	1,100,901 百万円	1,183,209 百万円	7.0
営業利益	2,139 百万円	13,461 百万円	84.1
経常利益	923 百万円	13,053 百万円	92.9

業績概要（上・下期比較）

	第 40 期下期 (平成 18 年 10 月～平成 19 年 3 月)	第 40 期上期 (平成 18 年 4 月～9 月)	増減率 (%)
売上高	553,298 百万円	547,602 百万円	101.0
営業利益	5,423 百万円	3,283 百万円	-
経常利益	4,562 百万円	3,639 百万円	-

40 期業績は前期比減収・減益となりました。しかしながら、上・下期比較では、業績は大幅に改善いたしました。

2. 上期業況の要因

当社は平成 16 年 10 月以降、低射幸性遊技機を中心とした「遊べるコーナー」を展開することで、射幸性の抑制とより安価に楽しめる娯楽としてのパチンコの実現を目指してまいりました。しかしながら、市場においては依然として高射幸性遊技機を嗜好する顧客が多数を占めていることから、客数の拡大には至りませんでした。

また営業組織上の問題として、個々の店舗における市場環境の変化にスピーディーに対処できず、店舗の競争力を低下させることとなり、結果として収益を悪化させることとなりました。

3. 下期において実施した施策

上述の上期業況を受け、以下の対策を実施いたしました。

・業績不振店舗の一時休業

平成 18 年 10～11 月にかけて、27 店舗を休業いたしました。これら店舗につきましては、平成 19 年 3 月以降、営業の再開、営業店舗以外の用途での利用、他社への転貸（リーシング）あるいは売却などの施策を検討・実施しております。

・出店計画の見直し

業界動向を含めた外部環境の変化等を考慮し、当初計画しておりました 35 店舗の新規出店のうち 13 店舗の出店を見合わせることにいたしました。あわせて出店基準

を見直し、基準に満たない店舗の出店計画を中止いたしました。

・組織改編

9月より営業組織を中心とした大幅な組織改編を実施いたしました。従前は当社が出店をしている44都道府県を10のゾーンに区分しておりましたが、新たに15のゾーンへ再編し、各ゾーンに社長直轄のゾーンマネジャーを配置いたしました。ゾーンマネジャーには営業に関わる権限を大幅に委譲し、ゾーン内の店舗から起案される個々の営業対策、ゾーン全体での課題解決の施策を主導的に行なえるようにいたしました。

4. 第41期(平成19年4月～平成20年3月)の業績予想

	第41期 (平成19年4月～平成20年3月)	第40期 (平成18年4月～平成19年3月)	増減率 (%)
売上高	1,060,000百万円	1,100,901百万円	3.7
営業利益	6,500百万円	2,139百万円	303.9
経常利益	5,000百万円	923百万円	541.7

今期においては、前期下期の業績回復基調を維持・拡大し、経営基盤の安定化を図るとともに、当社の事業目的である「パチンコを真の大衆娯楽に改革する」ため、より安価で安心して楽しめるパチンコのビジネスモデル確立を目指してまいります。

平成18年10月1日付で、株式会社ダイナムホールディングス(以下DYHD)との間で株式交換を行い、DYHDを親会社とする純粋持株会社体制へと移行しました。また平成18年12月1日付で当社が保有する子会社(株式会社ダイナム総合投資)の株式を、DYHDへ譲渡し、さらにダイナム総合投資が保有する国内グループ会社の株式をDYHDが取得したことにより、DYHD傘下に当社を含むグループ会社が並列となるグループ再編を実施しております。このため、今回より当社個別の業績開示としております。

以上